

北海道地方ダム等管理フォローアップ委員会（第41回）議事要旨

1. 日 時：平成31年2月22日（金）11時00分～12時00分
2. 場 所：北海道開発局札幌開発建設部 4階会議室
3. 出席者：黒木委員長、井上委員、岡村委員、門崎委員、中井委員、丸谷委員、森委員
4. 議事要旨
大雪ダム定期報告書（案）の概要について説明を行った。
各委員からの主な意見は以下のとおりである。

●大雪ダム定期報告書（案）について

- 1) 事業の概要
 - ・なし。
- 2) 洪水調節
 - ・平成28年8月洪水において、ダムの洪水調節により下流沿川の被害を軽減したものと評価できる。
- 3) 利水補給
 - ・なし。
- 4) 堆砂
 - ・平成28年洪水の後、No3 測線付近で堆積形状の大きな変化が生じている。測線上に局所的な地形変化が生じた場合、平均断面法による全体変化量の算定において当該測線を含む区間の変化量を過大評価する可能性があり、今後の調査で留意が必要である。
- 5) 水質
 - ・なし。
- 6) 生物
 - ・弾力的管理試験による生物の生息・生育環境の改善について、小放流の実施を継続することが望ましい。
- 7) 水源地域動態
 - ・ダム利用者の動向を近隣の観光拠点等との関係を含めて分析し、利活用の活性化に繋げることが望ましい。
- 8) 景観
 - ・ダム及びダム周辺で統一したサイン整備・景観配慮を実施・継続することが望ましい。
 - ・ダム湖周辺の樹木繁茂に伴い視点場からの展望が確保できなくなっている箇所は、関係機関と対応方針を協議することが望ましい。

○定期報告書については了承された。指摘事項は定期報告書に反映させる。